

文京区目白台図書館様  
「タブレット利用体験会」

2013年10月12日(土) 晴



今日の文京区目白台図書館様の「タブレット利用体験会」は午前 10:30~12:10 と午後 13:30~15:00 の2回行われました。図書館入り口横の掲示板の左上にポスターが貼ってありました。「本日開催」「満員御礼」



ただいま 9:30。10:30開始に向けて準備中。今回はいろいろなところで開催した中でも最高の部類の待遇。それもそのはずです。指定管理者(株式会社図書館流通センターさん)ですから。気配りが違います。

☆プロジェクターのセットから iPad の宅配便の発送までスタッフにお任せ。午前とお昼のお茶(お菓子付)までご準備。感謝感激。



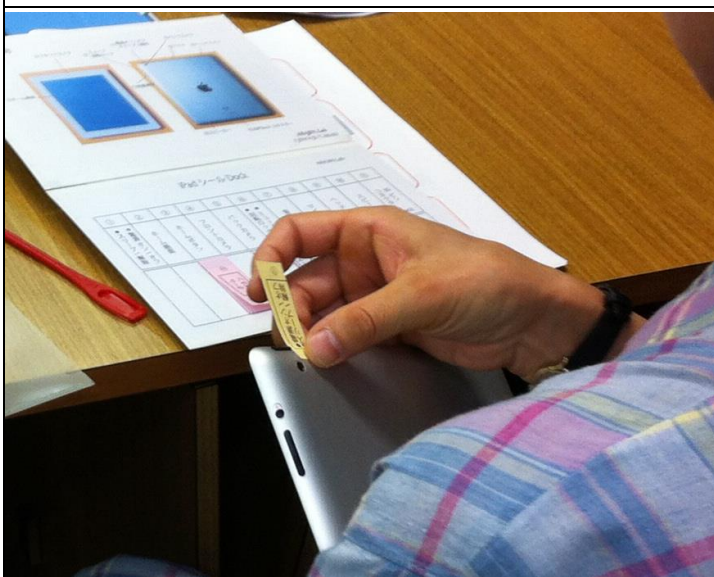
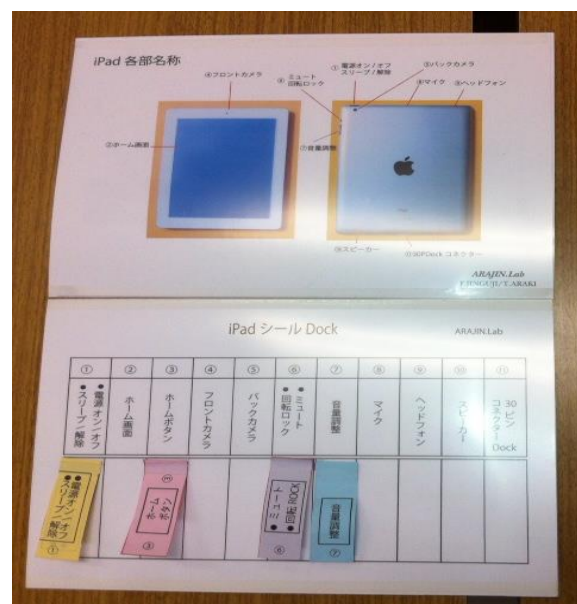
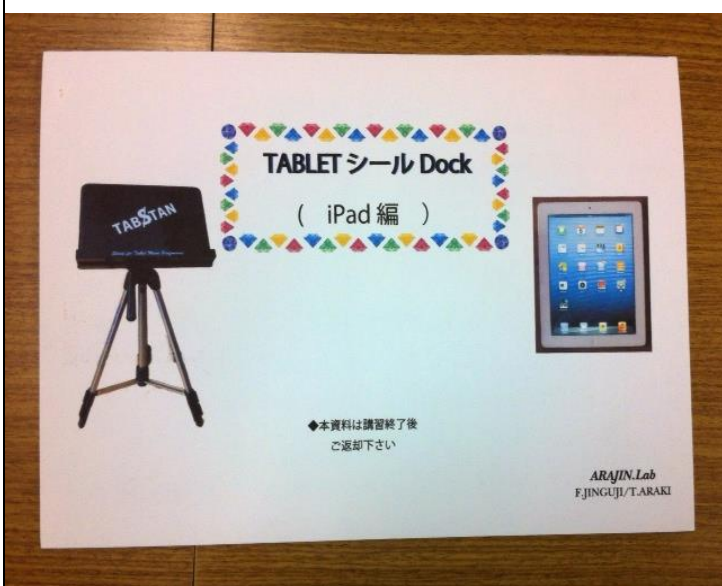
午前17人。感心したのは図書館の若いスタッフの方が講座を受講。午前は女性の方 午後は男性の方。女性の方におたずねしました。「iPad お持ちですか?」、答えは「いいえ」。そのくせ受講中さりげなくお隣をサポート。午後もサポートいただきました。有難いです。

☆「島」三つ。3人掛け。5人掛けが3組。席は全部で18席。もともと定員は15名。増員2~3名で18席準備。

☆主催者の館長様のご挨拶の中で、「図書館法17条」で図書館での催は料金を徴収するイベントはできないそうです。今回は文京区の他のふれあいサロン iPad 講座(@500円)とは異なり受講者様は無料。



午後の部。はじまりました。午後16名。ご参加。終了後の質問はこの講習会のアフタフォローです。三鷹までお越しになりたい方に山根の名刺を（主催者様のご了解を得て）お渡ししました。午前の部3名。午後の部5名。



荒木高子研究員さん考案のタブレットの大切な四つのボタンにシール貼りです。この作業でまず受講者様のお気持ちをぐっとかみます。とても効果的。シールは使いまわしです。ぼつぼつ粘着力が落ちてきました。



今回も荒木高子研究員さんの工夫がありました。写真の小道具をご用意。

iPadでは指先の「フリック」でめくり。「ピンチアウト/ピンチイン」で拡大/縮小。などご説明。皆さんウンウンと納得のうなずき。山根は「講師はエンターテナー」と思っています。予備校の名物講師が面白くない大学受験勉強を面白く楽しくするためにはいろいろな準備と工夫をしています。

- 実際の本に手製のカバーを2枚つけ（中身は別物）本をお見せしながら本は両手でめくらなければなりません。
- 分からない言葉は「国語の辞書」で引きます。（1枚目のカバーを外し2枚目のカバー（「国語の辞書」をお見せします）
- 「栞」をご用意
- フォントが小さすぎると、天眼鏡（＝虫眼鏡 死語ですかね？講師の中にも知らない講師がいました）で見なければいけません
- サイドライン用の鉛筆もご用意